

事業№	事業名	食品衛生協会補助金				担当部署	部名	福祉保健部		
		(保健衛生総務費)					課名	健康推進課		
085							電話	82-1954		
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計		
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	衛生費		
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり					項	保健衛生費		
	施策名(節)	第 2 節 明るく元気な健康づくりの推進					目	保健衛生総務費		
実施計画掲載		無		個別計画						
根拠法令・要綱等		食品衛生法								
事業目的	対象	射水食品衛生協会、新湊食品衛生協会								
	意図	食品衛生思想の普及及び食中毒の発生を予防する。								
事業内容	手段	補助金等を受ける主な活動 食品衛生思想啓発事業 食品衛生週間の資料配布 食品衛生指導員に関する事業 食品衛生施設の巡回指導 夏季、年末一斉監視への協力 食品衛生管理者体制の強化 食品営業従事者の検便、食品衛生管理者への研修								
補助金事業	類型区分	○ 団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助		
		格差是正補助		利子補給		その他 ()				
	補助内容	補助区分		算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		定額補助		事務人件費100,000円 + 会員活動費 2支部で、500,000円の範囲内とする。						
		定率補助								
	○ その他									
施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度			改修年度			類似施設状況			
	耐震の有無			延床面積			民間施設状況			
設備・規模										
施設等整備事業	総事業費			財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度				
その他	特記事項等									

事業 №	85	事務 事業名	食品衛生協会補助金	担当課	健康推進課
---------	----	-----------	-----------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 (会員数)	人	1,047	1,000	1,042	104.2	1000
	② 食品営業巡回指導動員数	人	431	400	308	77.0	400
	③ 食品営業施設巡回施設数	カ所	2,087	2,000	2,011	100.6	2000

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	直接事業費 (補助金等交付額)	500 千円	500 千円	0.0	500 千円
	(補助金等交付件数)	(2 件)	(2 件)	0.0	(2 件)
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	▲ 1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	▲ 5.0	19 千円
	事業コスト計	658 千円	655 千円	▲ 0.5	655 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	658 千円	655 千円	▲ 0.5	655 千円
財源内訳	当該事務 従事職員数	正規職員 0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者 1 人 当たりコスト	0.63 千円	0.63 千円	0.0	
	うち一般財源ベース分	0.63 千円	0.63 千円	0.0	

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	食品衛生法の基づく市民に衛生的、かつ安全で安心できる食品の提供を目的とする
有 効 性	4	厚生センターなどの関係機関との密接な連携のもと、食品衛生指導員による巡回指導や食品衛生思想の普及啓発活動、食品衛生責任者への研修会等積極的な活動をおこなっている。
効 率 性	4	事業は、会員の自主管理体制強化、食品衛生普及の啓発普及、食品衛生指導員に関する事業を実施しており、他団体では運営できない。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
近年、生食用食肉による腸管出血性大腸菌の感染による大きな事件や大震災による原発事故による食の安全に対する信頼の確保が高まっており、継続した事業実施が重要である。					

事業№	事業名	救急医療対策費				担当部署	部名	福祉保健部
		086					課名	健康推進課
						電話	82-1954	
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—		会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち				予算科目	款	衛生費
	政策名(章)	第 3 章 医療体制の整ったまちづくり					項	保健衛生費
	施策名(節)	第 1 節 医療体制の充実					目	保健衛生総務費
	実施計画掲載	有	14 頁	個別計画	富山県医療計画			
根拠法令・要綱等		医療法						

事業目的	対象	誰を・何を	全市民					
	意図	どのような状態に	休日における急病患者への医療の確保と第二次救急医療体制による二次救急病院の夜間における救急患者の医療を確保する					
事業内容	手段	どのような方法で	1 在宅休日当番制					
			2 病院群輪番制					

補助金事業	類型区分								
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
	構造・階数					指定管理者名				
	建築年度			改修年度			類似施設状況			
	耐震の有無			延床面積			民間施設状況			
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費			財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度			

その他	特記事項等								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業 №	86	事務 事業名	救急医療対策費	担当課	健康推進課
---------	----	-----------	---------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 在宅当番実施延数	日	68	68	68	100.0	68
	③						
活動 指標	① 在宅当番医療機関数	か所	43	45	45	100.0	45
	②						
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	7,017 千円	7,017 千円	0.0	7,048 千円
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	▲ 1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	▲ 5.0	19 千円
	事業コスト計	7,175 千円	7,172 千円	0.0	7,203 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	88 千円	88 千円	0.0	88 千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	7,087 千円	7,084 千円	0.0	7,115 千円
	正 規 職 員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	臨 時 職 員	人	人		人
	利 用 者 1 人 当 た り コ ス ト	—	—		
うち一般財源ベース分		—	—		

評価項目	点数	説 明
必 要 性	4	富山県医療計画により、県の救急医療の体制が整えられている
有 効 性	4	24時間365日間の救急患者の搬送受け入れについて体制が確保されている
達 成 度	4	救急搬送体制は全国第2位のレベルである。
効 率 性	4	富山県医療再生計画により、救急医療は医療分野別 (糖尿病、精神、災害医療、周産期等) の医療体制の取り組みが見直されている

評価結果 (1次)	A	現行 (計画) どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
継続して救急医療体制の確保が重要である。					

事業№	事業名	病院群輪番制病院運営補助金				担当部署	部名	福祉保健部
		(救急医療対策費)					課名	健康推進課
087							電話	82-1954
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	衛生費
	政策名(章)	第 3 章 医療体制の整ったまちづくり					項	保健衛生費
	施策名(節)	第 1 節 医療体制の充実					目	保健衛生総務費
	実施計画掲載	有	14 頁	個別計画	富山県医療計画			
根拠法令・要綱等		医療法						

事業目的	対象	交付先	射水市民病院
	意図	交付目的	第二次救急医療体制による二次救急病院の夜間における地域住民の急患患者の急変患者の医療を確保する。
事業内容	手段	補助金等の交付を受けて実施する主な活動	病院群輪番制により、24時間365日、重症救急患者の救急搬送を受け入れ必要な治療を行なう。また、病態に応じ、速やかに第三次救急医療体制である救命救急センターと連携している。 ・救急医療についての相当の知識及び経験のある医師を確保する。 ・救急医療を行なうために設備、施設である ・救急患者のための病床又は専用病床を有している

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	○	事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
		格差是正補助		利子補給		その他 ()			
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		○ 定額補助							
		定率補助	85,243円 × 25日 × 1/2						
	その他								

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度			平成24年度		

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	87	事務 事業名	病院群輪番制病院運営補助金	担当課	健康推進課
---------	----	-----------	---------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 (受診患者数)	人	256	250	245	98.0	250
	② 実診療日数	日	25	25	25	100.0	25
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	1,066 千円	1,066 千円	0.0	1,066 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	▲ 1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	▲ 5.0	19 千円
	事 業 コ ス ト 計	1,224 千円	1,221 千円	▲ 0.2	1,221 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	1,224 千円	1,221 千円	▲ 0.2	1,221 千円
財源内訳	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員 0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	4.78 千円	4.98 千円	4.2	
	うち一般財源ベース分	4.78 千円	4.98 千円	4.2	

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	二次救急医療の病院群輪番制の円滑な運営を推進する
有 効 性	4	救急患者が症状の程度により適切な診療が受診できる
効 率 性	4	4医療圏で20施設が確保されている

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
富山県医療計画に基づき、救急医療の確保のため、補助金を継続する。					

事業№	事業名	健康づくり推進費				担当部署	部名	福祉保健部
							課名	健康推進課
088							電話	92-1954
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	衛生費
	政策名 (章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり					項	保健衛生費
	施策名 (節)	第 2 節 明るく元気な健康づくりの推進					目	成人・老人保健対策費
	実施計画掲載	有	12 頁	個別計画	射水市健康増進プラン			
根拠法令・要綱等		健康増進法						

事業目的	対象	誰を・何を	全市民
	意図	どのような状態に	市民一人ひとりが望ましい生活習慣を実践し心身ともに健康な生活を送ることができ、「壮年期死亡の減少」と「健康寿命」の延伸を目指す。
事業内容	手段	どのような方法で	市民の健康寿命の延伸には、がん、脳卒中、心疾患、自殺の要因となりやすいうつ病などの発症予防対策を健康課題として取り組む。 1 栄養と食生活 2 身体活動と運動 3 休養とこころの健康づくり 4 たばこ 5 アルコール 6 歯の健康 7 がん検診、健康診査の受診 市民一人ひとりが自分自身の健康づくりに積極的に取り組めるよう、地域、学校、企業等関係団体が一体となって推進する。

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
						指定管理者名	
	構造・階数					指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	国の「健康日本21」と「富山県健康増進計画」を踏まえ、「射水市健康増進プラン」を平成22年3月に作成した。実施期間は、平成22年度から平成31年度までの10年間とし平成26年度に中間評価を行なう。
-----	-------	--

事業 №	88	事務 事業名	健康づくり推進費	担当課	健康推進課
---------	----	-----------	----------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② ヘルスボランティア活動参加延数	人	20,244	20,000	23,055	115.3	23,000
	③ 食生活改善推進員活動参加延数	人	6,563	5,000	8,476	169.5	8,000
活動 指標	① ヘルスボランティア活動回数	回	786	800	849	106.1	800
	② 食生活改善推進員活動回数	回	957	800	848	106.0	800
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業 コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	2,609 千円	2,302 千円	▲ 11.8	2,517 千円
	正規職員人件費相当額	5,727 千円	5,644 千円	▲ 1.4	4,896 千円
	退職手当引当金相当額	830 千円	789 千円	▲ 5.0	684 千円
	事業コスト計	9,166 千円	8,735 千円	▲ 4.7	8,097 千円
事業費・ 人件費	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
財源内訳	一 般 財 源	9,166 千円	8,735 千円	▲ 4.7	8,097 千円
	当 該 事 務				
	従 事 職 員 数				
利用者1人あたりコスト	正規職員	0.83 人	0.83 人	0.0	0.72 人
	臨時職員	人	人		人
利用者1人あたりコスト		—	—		
うち一般財源ベース分		—	—		

評価項目	点数	説 明
必要性	4	急速な人口の高齢化や生活習慣病の変化により疾病構造が変化し、がん、脳卒中、心疾患等の生活習慣病の割合が急増した。すべての市民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするため生活習慣改善のための取り組みは重要である。
有効性	3	国の「健康日本21」を踏まえ、射水市健康増進プランを作成した。市民の健康増進のための目標値、具体的な取り組み方法を示している。
達成度	3	健康増進プランで示している平成31年度までの目標値に一部達成できたものもある。
効率性	3	健康増進プランで示している7つの健康課題について、事業効果を評価するために、それぞれ目標値を設定しており、平成26年度に中間評価でプランの見直しを行なう。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
東日本大震災等の社会情勢の変化により、健康リスク・環境リスク、危機管理(被爆、食中毒等)への対応やこころの健康、子どもの生活習慣病予防の強化等継続的な取り組みが重要である					

事業№	事業名	心の健康づくり推進費				担当部署	部名	福祉保健部
							課名	健康推進課
089							電話	82-1954
事業期間		開始年度	平成 21 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	衛生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり					項	保健衛生費
	施策名(節)	第 2 節 明るく元気な健康づくりの推進					目	成人・老人保健対策費
実施計画掲載		有	12 頁	個別計画	射水市健康増進プラン			
根拠法令・要綱等		健康増進法						

事業目的	対象	誰を・何を	全市民
	意図	どのような状態に	生活環境の著しい変化に伴い、ストレス要因が増すことで自殺者が増加傾向にあることから、一人ひとりが、ストレスに適切に適応でき、ストレスと上手に付き合い健康的な心を保つことができるようにする。
事業内容	手段	どのような方法で	1 電話や面接による心理相談員、保健師等が個別相談で対応する。 2 健康づくりボランティアを対象とした心の健康に関する研修会の開催 3 市民向けリーフレットの作成や広報等によるこころの健康普及啓発

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態		
	構造・階数					指定管理者名		
	建築年度			改修年度			類似施設状況	
	耐震の有無			延床面積			民間施設状況	
	設備・規模							

施設等整備事業	総事業費			財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度			

その他	特記事項等	内閣府からの平成21年6月通知により、急増する自殺対策に緊急に取り組むため、県に基金を造成し、市町村において自殺予防対策を実施している。
-----	-------	--

事業 №	89	事務 事業名	心の健康づくり推進費	担当課	健康推進課
---------	----	-----------	------------	-----	-------

指 標 名			単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
					目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果指標	①	利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	②	自殺による死亡者の減少	人	21	20	未確定		20
	③							
活動指標	①	こころの健康相談延相談件数	人	36	40	43	107.5	36
	②	こころの健康づくり講演会参加人数	人	330	350	613	175.1	240
	③							

事業費・ 人件費	事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
	事業コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	881 千円	998 千円	13.3	652 千円
		正規職員人件費相当額	7,452 千円	4,896 千円	▲ 34.3	5,916 千円
		退職手当引当金相当額	1,080 千円	684 千円	▲ 36.7	827 千円
		事業コスト計	9,413 千円	6,578 千円	▲ 30.1	7,395 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	881 千円	997 千円	13.2	652 千円
		そ の 他	千円	千円		千円
		一 般 財 源	8,532 千円	5,581 千円	▲ 34.6	6,743 千円
	当該事務 従事職員数	正規職員	1.08 人	0.72 人	▲ 33.3	0.87 人
		臨時職員	人	人		人
		利用者 1 人 当たりコスト	—	—		
	うち一般財源ベース分		—	—		

評価項目	点数	説 明
必要性	4	地域自殺対策緊急強化交付金により、こころの健康を保つため、ストレスと上手につき合えるような啓発活動やこころの悩みを相談しやすい体制づくりを行なっている。
有効性	3	こころの悩みが相談しやすい体制を図るための市民への啓発や自殺で悩んでいる人を早期に発見し必要な支援をおこなう人材育成にも取り組んでいる
達成度	3	地域での自殺対策を啓発するために、健康づくりボランティアがショッピングセンター、駅等でうつ病予防のための啓発活動をおこなっている。
効率性	4	平成24年度より、うつ病、自殺対策のための講演会、パンフレットの配布等啓発活動に加え、地域でこころの悩みを抱えている人に必要な支援をおこなう人材であるゲートキーパ養成を行い、地域ぐるみで自殺予防対策をおこなっている。

評価結果 (1次)	A	現行 (計画) どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
働く世代へのストレス対策、ニート問題、不登校など自殺を予防するにはさまざまな要因への対策を継続的に取り組む必要性がある。					